

児玉 康比古 議員



一問一答方式

- ① スポーツ推進委員
- ② 豪雨災害時の避難

スポーツ推進委員について

問

自己流でなく、正しい歩き方や走り方を学ぶことも重要で、スポーツ推進委員の指導や助言による公民館の学級活動推進も必要である。どのようにして地域スポーツ推進を行っているのか。

また今後、条例制定や健康寿命延伸都市宣言により、連携及び推進をしていくのか。

答

本年3月に大洲市スポーツ推進計画を策定し、スポーツを通じた交流の促進と地域活性化、心身の健康維持と体力向上を目標項目に位

置づけ、取り組むこととしています。

各公民館等では、誰もが気軽に参加して楽しむことができるスポーツ行事やレクリエーション活動などを行うことで、市民の皆様の健康と体力づくり、交流を深める機会を提供し、必要に応じてスポーツ推進委員の実技指導や助言を得ながら、令和元年度では延べ55件の行事を実施し、地域スポーツの推進をしています。

スポーツによる交流の場を提供し、積極的に市民の皆様が参加いただくことで、生きがいづくりと地域コミュニティの活性化、体力の増進、ひいては健康寿命の延伸につながるかと考えています。

今後は、条例制定や宣言を契機に、市民の皆様の健康寿命への感心がさらに高まるよう、地域スポーツを通じた取り組みを進めたいと考えています。



問

スポーツ基本法の中では、2、3年先の地域を見越しながらスポーツ振興計画を練り、指導者や協力者の発掘、スポーツ環境の整備などが求められているが、スポーツ推進委員の今後の在り方、理想論についてお伺いする。

答

スポーツ推進計画では、スポーツ推進委員及び委員活動の認知度を向上させるため、広報紙やホームページを活用した周知に努めるとともに、委員の役割であるスポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整や住民の皆様に対するスポーツの実技指導及び助言を効果的に行うことができる環境づくりに取り組んでいます。

現在、全委員を対象に地域におけるスポーツ推進活動の実態把握を目的としたアンケート調査を実施しています。この結果を踏まえ、各委員がスポーツに関する市民の皆様を行政に反映させ、地域住民と密接に結びついた理想的な役割を担っていくべく、スポーツ推進の体制づくりに取り組みたいと考えています。

豪雨災害時の避難について

避難行動要支援者は市全体で何名いるのか。

問

また、要支援者の避難援助体制は地域ごとに対応されていると思うが、その現状はどうか。

答

令和2年4月1日付の避難行動要支援者名簿では、避難行動要支援者総数は2,063名です。

地区防災計画を策定している17の地区では、避難支援を行う要員として地区社協や民生児童委員が中心となつて行う地区が4地区、区長や自主防災組織の役員が中心となる地区が13地区となっています。

避難行動要支援者名簿は、大洲消防署、大洲警察署、民生児童委員、大洲市社会福祉協議会、大洲市消防団、自主防災組織、自治会に限りその名簿情報を提供しています。

これらの組織を中心に、各地域において地区防災計画の中で地域に合った役割分担を定め、対応いただきたいと考えています。